

第7回第三者委員会における意見を踏まえた最終評価結果書の修正内容

委員からの意見		修正箇所	修正内容
<p>・効果の記載欄はフリーに記載することとなっているが、体制整備単価及び加算に関しては、インセンティブ措置としての効果を記載するよう注意書きをすべき。</p>	<p>図司委員 浅野委員</p>	<p>市町村及び都道府県最終評価結果書の3の(3)及び(4)</p>	<p>・「農業生産活動等の体制整備として取り組むべき事項」及び「その他協定締結による活動(加算に関する項目)」の「取組の概要、取組により生じた効果」に「加算されていることによる効果」を追記。</p>
<p>・体制整備単価及び加算に関しては、実施地区と未実施地区を比較した定量評価をすべきではないか。</p>	<p>浅野委員</p>	<p>都道府県最終評価結果書の8 ※評価の総括欄</p>	<p>・記載の説明書きに「基礎単価で交付を受けている集落と体制整備単価で交付を受けている集落の違いや、加算措置を受けている集落で見られる特色などがあれば具体的に記載」を追記。</p>
		<p>実施地区と未実施地区を比較した定量評価(分析)</p>	<p>・分析の実施については、最終年評価結果とは別の作業として検討。</p>
<p>・「5 第1期対策から第4期対策までの効果等」とあるが、取組期間の長短による評価ができないか。</p>	<p>市田委員</p>	<p>市町村及び都道府県最終評価結果書の5</p>	<p>・記載の説明書きに「取組期間の長短による集落の変化等の違いや、4期対策での特別な変化等があればその内容についても記載してください。」と追記。</p>
<p>・農業生産活動を継続していくための課題を記載することになっているが、次期対策につなげていくための課題出しであればもっとわかりやすくすべきではないか。</p>	<p>図司委員</p>	<p>市町村及び都道府県最終評価結果書の6</p>	<p>・本制度の活用を前提とした課題が記載されるよう、記載の説明書きを「本制度を活用して農業生産活動を継続していくための課題を・・・」に修正。 ・選択項目を「人員・人材」「営農」「農村協働力(集落機能)」「制度」に分類し、並び替え。</p>